

市道1号線の舗装工事始まる

大横町通りを含む八六五メートル

文化観光施設整備事業として市道一号线の舗装工事をこのほど始めました。稲荷町の虚空蔵尊から稲荷町二丁目、下鉢石、中鉢石、上鉢石町の裏を経て日光橋に至る市道で、大横町通りを含む延長八六五メートルを工費五九〇万円で舗装します。

都市計画街路を新設

相生町地内に

駅前土地区画整備事業の一環として区画整理後の道路新設工

事をこのほど始めました。都市計画街路五号、三五号、四一号線で、いずれも相生町地内に新設します。

側溝を整備して砂利道を新設するもので、五号線が工費二六

幅します。工期は九月十日着工十一月九日に完成の予定です。工事中は通行にご不便をかけますが、一日も早く完成させて皆さん方に役立つよう工事をすすめていますので協力ください。

万円、延長二七メートル、幅八メートルのもの、三五号線が工費三万円、延長三二メートル幅四メートルのもの、四二号線が工費二九万五、〇〇〇円、延長六二・五メートル、幅三メートルのもので、工期は九月八日着工、十月十日に完成の予定です。



舗装工事を始めた市道1号線

廃品回収でつくった校内食堂で

日光小の給食

正しいテーブルマナーを指導

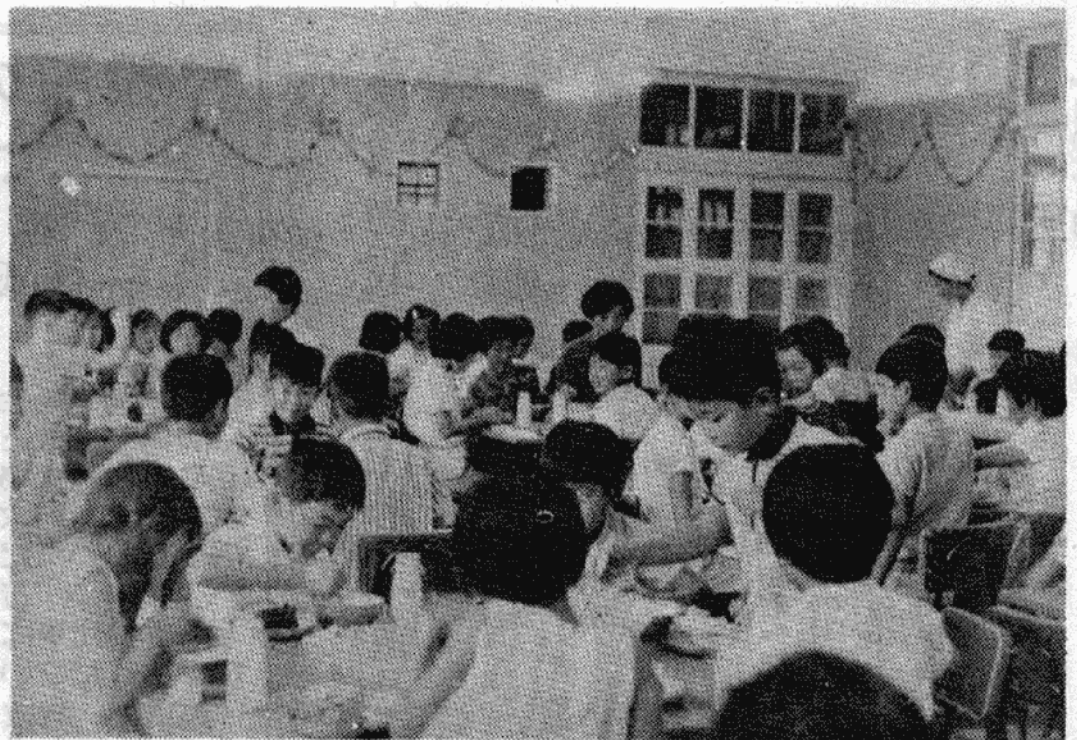
日光小学校にこのほど児童やPTAの廃品回収で得た資金をもとに校内食堂がつくれ、さっそく二学期から児童たちが学年ごとに、このダイニングルームで給食をとっています。

これは新時代の子どもにもふさわしい礼儀作法の第一歩、テーブルマナーを身につけさせ、また食事を通じて日常生活のしつけを学ばせようとの心づかいから始められたもので、このよう

な施設が完備した学校は県内でもめずらしく、その成果が注目されています。

日光小学校には二年前に、やはり廃品回収で校内食堂がつけられ、全児童が利用していましたが、食堂が狭いため一組(四人)ずつしか利用できず、三

か月に一回くらいしか使えなかったため「もっと多く食堂で給食をたべたい」という声が強いところから、第二食堂を増設し



給食で楽しいテーブルマナーを身につける日光小の児童たち

たものです。資金の調達には児童たちが毎月古新聞や古雑誌を学校へ持ち寄り、また、PTAも地区ぐるみで廃品回収の応援を行ない、こうして得た四五万円を旧職員室(普通教室二室分)を改造、第二食堂をつくったものです。広さが一五八平方メートルあり、食堂内に一五のテーブルを用意、九〇人がすわれる清潔な感じの食堂です。

この第二食堂の完成によって第一食堂は一、二年生、第二食堂は三年生から六年生が使用し八日に一回の割り合いで給食が

たべられるようになり児童たちは大喜び。学校では、このりっぱな食堂を十分に活用しようとしてテーブルごとにパンやジャム、総菜をひとつの皿に盛り合わせ自由にたべられるバイキング方式をとられ、テーブルマナーを身につけさせています。この試みは備食したり、ひとりで独占したりするのではないかと心配されていましたが、児童たちはそうした心配をよそに、仲よく、楽しそうに給食をたべ、先生たちを喜ばせています。